

法人名	大阪外環状鉄道株式会社
作成(所管課)	都市整備部 交通戦略室 鉄道推進課

○ 経営目標設定の考え方

ミッション

○鉄道施設を保有する第三種鉄道事業者として、第二種鉄道事業者であるJR西日本と連携し、おおさか東線の鉄道施設、設備の安全管理を行う

○建設費用として調達した地元自治体及び金融機関からの借入金について、JR西日本からの線路使用料や高架下用地の貸付による収入を確保し、計画的かつ着実に返済していく

■ 大阪府の施策

- ・都市内交通の円滑化

基本方針

1 鉄道施設、設備の安全管理

- ・鉄道施設等の所有者として、おおさか東線の運行主体であるJR西日本とともに、鉄道の安全・安心な運行を確保できるよう、安全管理の徹底に努める。

2 経営基盤の強化

1) 借入金の計画的返済

おおさか東線の整備に当たり、地元自治体及び金融機関から調達した借入金について、計画的かつ着実に返済を進める。

2) 高架下等の貸付

高架下等について事業者に貸し出しを行い、店舗、資材置き場、駐輪駐車場として活用するとともに、安定的な高架下貸付賃料を確保する。

3) 現預金の適正な管理

現預金を、金融機関借入金の一括返済の原資とするとともに、現預金保全におけるリスク分散化を念頭に適正な資金管理を行う。

戦略目標と成果測定指標【中期経営計画上の目標値】

① 鉄道施設の検査・工事の適正実施確認

- ・検査・工事の不備による事故件数
【0件(R7実績)→0件(R12)】

② 安全に対する意識の醸成

- ・運輸安全マネジメントの実践

③ 借入金の計画的返済

- ・返済額
【10.40億円(R7実績)→8.6億円(R12)】

借入金残高
600.65億円(R7実績)→482.1億円(R12)
金融機関調達分92.9億円は、R9年度末までに
残額一括返済

④ 高架下の貸付

- ・高架下貸付面積
【61,847㎡(R7実績)→64,000㎡(R10)、
さらに上積み(R12)】

○ 令和7年度の経営目標達成状況及び令和8年度経営目標設定表

I. 最重点目標(成果測定指標)													
戦略目標	成果測定指標	新規	単位	R6 実績値	R7 目標値	R7 実績値 [見込値]	R7 ウエイト	R7 得点	R8 目標値	R8 ウエイト	中期経営計画 (R8～R12)		R8目標設定の考え方 (数値の根拠) ※累積数値による目標設定の場合は、その理由も記載
											R8 目標値	最終年度 目標値	
① 鉄道施設の検査・工事の適正実施確認	検査・工事の不備による事故件数		件	0	0	0	50	50	0	50	0	0	検査・工事の不備による事故ゼロを目指す。
法人経営者の考え方(取組姿勢・決意)											戦略目標達成のための活動事項		
最重点とする理由、 経営上の位置付け	・当社は、大阪外環状線(おおさか東線)の整備プロジェクトを目的に設立された会社であり、鉄道事業法に基づく建設・保有を行う第3種鉄道事業者である。建設事業完了後の現在は、鉄道施設を保有する第3種鉄道事業者として、おおさか東線の鉄道施設、設備を安全に管理することが最重点目標である。(運行は第2種鉄道事業者であるJR西日本及びJR貨物)												
最重点目標達成のための 組織の課題、改善点	・限られた人員・組織体制の中で、検査及び工事等の実務を担うJR西日本との連携に不備がなきよう、社員はもとより社長、役員(安全統括管理官)も関与した体制で取り組む。 ・運輸安全マネジメントを通して、検査及び工事等の実務を担うJR西日本との連携を図りながら、社長、役員も関与して、検査・工事等の手続及び内容に対して適正な実施確認を行う。 ・おおさか東線の鉄道施設、設備の保有者としての責任を意識できるよう平素から社員の安全に関する意識の醸成に努める。												
活動方針	・運輸安全マネジメントを通して、鉄道の安全を最優先に、JR西日本による鉄道施設の検査及び工事計画に対し、検査・工事の内容及び手続等に不備がなきよう徹底する。												